

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	宮前町	有害鳥獣捕獲、防除施設に関する補助金、捕獲班の対応について	<p>サル移動状態をつかむためには、サルに発信器を装着し、日常的に見回りを行い、システムを通じて情報を発信する必要があり、兵庫県篠山市や南丹市等で導入されています。亀岡市の場合、有害鳥獣対策はイノシシやシカ対策に重きをおいており、サルについては、南丹市等から機械を借用する等の対応を行っています。サルの居場所の把握については、位置を特定するシステムの導入、発信器の装着、常に見回りを行う人員等の確保といった課題があるため、今後研究していく必要があると考えます。</p> <p>防除柵設置の補助については、現在でも実施しており、防除柵(金網柵、ワイヤーメッシュ柵、電気柵)設置に係る資材費を農家組合等へ補助しており、ワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた複合柵(例:おじろ用心棒)でも補助することができますので、具体的な話については農林振興課にご相談いただければと思います。</p> <p>捕獲班の活動につきましては、猟具を使用することから、地域住民に周知する期間も必要であり、地元からの連絡の翌日に捕獲活動および発砲は困難と考えますが、迅速な周知等が可能であれば早期の対応をしていきたいと考えます。なお、空砲の使用ではなく、動物駆逐用煙火であれば煙火消費保安講習会(毎年2、3月頃)に参加いただくことで動物駆逐用煙火の購入および使用が可能となり、動物の追い払いを効果的に行うことができるので検討していただけたらと思います。</p> <p>あと、サルの檻につきましては、これからの課題として考えていきたいというふうに思っています。</p>	産業観光部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
2	宮前町	市道長野線(とこなげ口～日の出橋) ①市道長野線及び橋梁の拡幅工事 ・府道宮前千歳線鳴滝工区改良工事の完了に伴う交通量増加に対応して当神前区へ入るアクセス道路・交差点付近の整備等が地域の発展、安全性、利便性向上の観点から必要となってきた。	<p>道路修繕工事の要望については、市内各所から数多くの要望をいただいております。実際の修繕については、通過交通量が多く緊急度の高い箇所から順次実施しているところです。</p> <p>当該路線については、特に幅員が狭い箇所での車のすれ違いも困難な区間であることは認識していますが、比較的に見通しが良く、前後は若干広くすれ違いが可能な幅員もある状況であり、さらに橋梁があることで、その部分の拡幅については安易にはいかないと思っております。</p> <p>また、要望をいただいている中で、路肩が崩壊している等の内容もあり、そのあたりを優先的に取り組む必要があると思っておりますが、当該箇所を早期に取り組むのは難しいと考えています。法面を利用するか路肩整備によってどの程度の拡幅が可能か、調査・検討の方は進めていきたいと考えています。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	宮前町	市道長野線整備(日の出橋～堂ヶ峠間) ①丸正建設敷地前の路肩崩れ部分の整備	当該箇所について、路肩の崩壊、路面の沈下箇所は確認しておりますので、こちらの件につきましては今年度の早い段階で修繕対応を考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	平成30年9月豪雨によって当該区間については被災範囲が拡大し災害案件となりましたので、災害復旧工事により復旧予定です。
4	宮前町	市道長野線整備(日の出橋～堂ヶ峠間) ②人見鉄筋前道路狭小部の拡幅	市道長野線につきましては、先ほどから申し上げているとおり、特に通行の支障となる箇所については従来から拡幅対応を実施しています。平成25年度には小鳥ヶ丘付近の拡幅工事、また平成26年度には人見鉄筋駐車場前の拡幅工事を行っています。 そういったことから、当該箇所につきましても法面がありますので、それらを利用してどれだけ効果を得られるか、また法面の反対側に少し待避所的に利用できるスペースもあるので、そういった場所を有効に利用して効果的な整備ができないか検討してまいります。 また、こん談事項にはありませんでしたが、西神前よりの市道長野線で法面の石積みの崩壊もありましたのでこれも合わせて調査をさせていただきたいと思っています。こちらの方が緊急度が高いと思っています。 市道長野線の調査検討した結果については区長さんに報告させていただくとともに、長期的な計画を協議しながら対応していきたいと思っています。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
5	宮前町	小鳥ヶ丘団地内道路の市道認定について	道路敷地について調査したところ、所有権は亀岡市(都市計画課)となっており、道路幅員も6.0mということで、市の認定基準にも合致しているので、認定に向けて事務を進めていきたいと思っています。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	平成31年3月議会に上程し市道に認定する予定です。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	宮前町	賑わい町づくりについて	<p>ききょうの里については、平成16年から明智光秀公顕彰会、亀岡中央ロータリークラブが中心となり、谷性寺壇家総代をはじめ、猪倉農家組合、宮前町などによる「丹波/亀岡ききょうの里を作る会」で運営していただき、「明智光秀のまち亀岡」のシンボルとなる新たな観光地としてにぎわいを創出いただいております。平成29年度には約5,800人の入園者があり、亀岡の夏の花の観光地としても定着してきました。本市の進める民間団体や市民等との連携・協働による観光まちづくりでは、継続性と発展性のあるにぎわい創出において、ききょうの里の果たす役割は大きいものと考えます。</p> <p>また2020年の明智光秀公を主人公にした大河ドラマ「麒麟がくる」が決まったことで、来年度以降も来園者が大幅に増加することが考えられますし、今回要望いただきました4項目につきましては、観光客の方をお迎えする上で亀岡市としても非常に大切なことばかりだと考えていますので、しっかりと協働して進めていきたいと考えています。</p> <p>また新たな運営ということもありましたが、今後の考え方につきまして関係者で一度集まり、協議を進めるべきだと思いますので、また亀岡市の方から声かけをさせていただきたいと思っています。</p>	産業観光部長	③検討	平成30年10月31日、亀岡市役所の会議室において平成31年度以降のききょうの里の運営について関係者協議(ききょうの里を作る会、亀岡市観光協会、亀岡市緑化協会、都市整備課、商工観光課、奥野議員)を行い、各機関において予算確保も含めて、協力できる部分について検討することとしました。
			<p>2020年の大河ドラマに向けて、プロジェクトチームを作ろうと思っています。その中にききょうの里メンバーも参加していただきながら、ききょうの里の再整備を図っていききたいと思っています。</p> <p>1つは、全体的なききょうを見せる計画を再度作り直して再生を図っていききたいと思っています。もう1つは組織であり、亀岡市がもう一步踏み込ませていただいで取り組む形にしていききたいと思っています。これをきっかけに20年、30年とききょうの里を運営していけるようにしていきたいと考えていますので、地元のみなさんには用地の問題、駐車場の問題等あると思いますので、いろんな意味で前向きに御協力をいただければありがたいと思っています。今後も協議・協力をお願いします。</p>	市長 (市長公室) (産業観光部)	①実施 ③検討	<p>本市では、行政や各種団体、市民の方との連携・協働により魅力に満ちた亀岡の自然と歴史文化を全国に発信し、交流人口の拡大をはじめ地域経済の活性化を図ることを目的とした組織「大河ドラマ『麒麟がくる』亀岡市実行委員会」を平成30年9月28日に設立いたしました。本実行委員会には、「丹波/亀岡ききょうの里を作る会」にも構成団体として参画いただいております。谷性寺・ききょうの里といった明智光秀ゆかりの地を広くPRし、今後、亀岡市のにぎわい創出に向けた様々な事業を展開してまいります。</p> <p>平成30年10月31日、亀岡市役所の会議室において平成31年度以降のききょうの里の運営について関係者協議(ききょうの里を作る会、亀岡市観光協会、亀岡市緑化協会、都市整備課、商工観光課、奥野議員)を行い、各機関において予算確保も含めて、協力できる部分について検討することとしました。</p>
7	宮前町	災害対策について①	<p>昨年の10月22日に発生した、団地南側の埋立地の土砂崩れによる住宅の損壊については、過去の隣地の開発に対する許可や検査の経過から府の振興局の関係の方が地元のみなさんの窓口として、一定復旧することができました。</p> <p>またその後斜めになったブロックの修繕につきましても地元の皆様からの申し出によりまして、業者が対応したものと聞いております。基本的には、土地所有者にて対策を行っていただくことになり、行政が成り代わって対策を行うことはできませんが、土地所有者に対してはこれまでの指導経過を踏まえ、京都府をはじめ地元区、自治会と連携を図る中、改善対策を求めていきたいと考えております。</p>	産業観光部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	宮前町	災害対策について②	<p>里道にコンクリートブロックが垂直に積まれているということですが、これにつきましては、こん談事項でお知らせいただいたこともあり、現地の確認をさせていただきました。説明がありましたように行為者によって里道上にコンクリートブロックが垂直に設置されており、里道の連続性がない状況を確認させていただきました。里道については亀岡市に法定外公共物の管理条例があり、それに基づき、まず行為者に現状回復に向けて指導をしていきたいと考えています。</p>	まちづくり推進部 事業担当部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
			<p>京都府の地域力再生事業を活用し、コンクリートブロック、里道の復旧も含めて進めていきたいと思っておりますので、一度ご相談いただきたいと思っております。 これにより最悪の事態は脱出できるのではないかと考えていますので、そのためには自治会、区の協力ができないのでよろしくお願ひします。</p>	市長 (まちづくり推進部)	⑥その他	京都府の地域力再生プロジェクト支援事業の活用について、検討しましたが同事業での取り組みは困難であります。当該里道については、「亀岡市法定外公共物管理条例」に基づき、地元、関係機関と連携し対応していきたいと考えております。
9	宮前町	安心・安全のまちづくりについて ・西部地区に消防署出張所の設置について	<p>京都中部広域消防組合は、亀岡市のみならず、南丹市、京丹波町で構成されています。亀岡市としては西部地域に新たな消防署出張所が必要であると認識する中で、今年度は特に南丹市、京丹波町に理解をいただくようにあらゆる機会を話を進めています。桂川市長から、南丹市、京丹波町に必要性をアピールしていただいておりますが、まだ結論には至っていない状況です。今後も、引き続き議論を重ねていながら西部地域への消防署出張所設置への実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
			<p>西部地域への消防署の設置については必要と考えており、消防組合の方にはすでに指示をしています。当初は救急だけでも作れないか指示しましたが、消防事務局としては、救急体制で救急車1台だけ置くのではなく、消防体制を含めて最低でも10名の消防士を置いて、救急車と消防車の設置をしていきたいと考えています。 ただ新たな消防署は亀岡の西部地域4町だけではなく、南丹市の園部等も含めたエリアにすべきだと考えているので、設置費用については、亀岡市の負担以外に南丹市にも費用の負担が必要になってきます。先日、南丹市、京丹波町と意見交換会を実施し、いろいろな意見交換を行いました。その中で南丹市長も南丹市西部地域の防災の拠点については、「少し考えている、いくら費用が必要なのか示してほしい」ということで一歩前進した状況です。今後管理者会の中で具体的に負担割合を含めて、そしてエリアの状況等再度説明する中で進めていきたいと思っています。</p>	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
10	宮前町	安心・安全のまちづくりについて ・免許証返納者への支援金の増額	<p>近年、高齢ドライバーが加害者となる交通事故が増加している中で、移動が不便でなかなか手放せない方もいますが、高齢者事故を防止し、安全・安心な生活を送っていただくことを目的に、高齢者が免許証を自主返納していただくきっかけづくりとして、平成27年5月1日から「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を実施しています。 現在、自主返納者された方には支援事業として、敬老乗車券20枚綴りまたはタクシーチケット5,000円のいずれかをお渡ししている状況です。 こん談事項である免許証自主返納者への支援の増額については、財政厳しい状況でもありますが、支援対象者70歳以上から65歳以上へ対象年齢を引き下げる等の検討や福祉施策の方でも敬老乗車券を2冊まで半額で購入することができる制度も始めた所で、こういった観点から市全体の総合的な判断または市全体のバス交通のあり方も含めて、支援金の増額については慎重に検討していく必要があると考えています。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	宮前町	安心・安全のまちづくりについて ・災害時避難支援活動の推進	<p>平成25年6月の災害対策基本法の改正により、市町村は、避難行動要支援者名簿を作成しなければならないということになり、亀岡市では平成28年度から避難行動要支援者名簿を作成し、同意いただいた要支援者の方の名簿については、平常時から自治会、民生委員、児童委員の皆様配布させていただいております。</p> <p>宮前町においては、避難行動要支援者名簿に35名の方に登録いただいております、事前登録の同意をいただいているのは、僅か14名となっております。これらを民生委員と児童委員の皆様だけで見守っていただくわけにはいきませんし、亀岡市においても災害が発生すると、相当の人員が必要となります。安否確認については、自治会組織を使っていただく必要がありますので、その方向で協議を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>また今回の豪雨災害においては、同意不同意にかかわらずすべての方々の名簿を配布させていただき、避難勧告発令時には登録に基づき、安否確認をお願いしたいということで依頼をさせていただきましたが急遽名簿をもらっても短時間ではできないうるか激しい雨の中危険が伴う等、多くの課題も見つかりましたので、これらについては今後、関係機関と協議を進めていきたいと考えております。</p>	健康福祉部長	②実施予定	<p>避難行動要支援者名簿の内で同意をいただいた要支援者の方の名簿は自治会、民生委員児童委員の皆様配布させていただき活用いただいているところですが、現在、市では未同意の方の個別訪問を行い、同意率の向上のための取組を進めているところです。</p> <p>宮前町では自治会、民生委員児童委員等を中心として避難訓練を実施されるなど防災、減災に向けた取り組みを積極的に進めていただいております。今年度頻発した災害においても名簿に基づき安否確認等を依頼させていただき、対応いただきました。</p> <p>今回の災害では風水害、土砂災害と様々な災害が発生しその対応についても多くの課題が見つかったところですが、この教訓を活かした対策について関係機関と協議を進めていきたいと考えております。</p>
12	宮前町	安心・安全のまちづくりについて ・ふるさとバスの利便性の向上	<p>亀岡市では、平成25年度に策定した「亀岡市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の維持や利便性の向上、公共交通空白地域への対策等に取り組んできましたが、新たに「亀岡市地域公共交通網形成計画」の策定に向けて現在取り組んでいるところであり、その中で各地域における公共交通の現状や課題等を把握するために、各自治会に対してヒアリング調査を実施しているところです。今回のこん談事項につきましてもその中で要望していただければ、検討させていただきたいと思っております。</p> <p>現段階での回答といたしまして、ふるさとバスの畑野千代川コースのスーパーへの延伸については、利用者の見込みがどの程度あるのか、そして運行の速達性、安全性、経費等を勘案する中で検討していきたいと考えています。</p> <p>亀岡駅方面に関しては、京阪京都交通バスがガレリアかめおかや市役所、亀岡駅まで乗り換えをせずに直通で運行しており、さらにふるさとバスの畑野千代川コースが千代川駅まで乗り換えをせずに直通で運行しており、他の地域と比べまして公共交通の充実した地域であると考えています。畑野コースの亀岡駅までの延伸については、京阪京都交通バス路線との兼ね合いもあり実現には課題が多くありますが、ガレリアかめおかまでの延伸については、昨年9月から土休日について延伸して運行しております。</p> <p>湯の花平への乗入について、湯の花平地区には、最寄(約500m圏内)のバス停として「高芝」が幹線(国道372号)に設置されています。家の近くまでバスが運行することは、誰もが望むところではありますが、公共交通としてより多くの人に公平・公正にご利用いただけるよう、集落の入り口となる幹線道路を運行させていることをご理解いただき御協力をお願いします。一度団地内の調査等させていただき、検討はさせていただきたいと思っております。</p> <p>地元で検討されているコミュニティタクシーの運行に関しては、高齢化が進む中、各地域においても課題として伺っています。亀岡市としましても、現在取り組んでいる「亀岡市地域公共交通網形成計画」の策定時において、交通会議で審議いただきながら亀岡市の方向性を示していきたいと考えております。有償・無償・利用目的等、どのような手法を考えておられるのか、一度公共交通の担当課である、まちづくり交通課にご相談いただければと考えております。</p>	まちづくり推進部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
			<p>朝・晩のバスは通勤、通学に必要ですが、昼間のバスをコミュニティタクシーに変えていくという方法もあるかと思っております。西部地域だけでも年間2,000～3,000万円のバス料金を行政で負担していますが、収入は500万円程度だと思っております。そのあたりを精査して、地域で運行していただくコミュニティタクシーに助成して、運行は地元の西部4町でやっていただくという方法もあるかと思っておりますので、一度西部4町の自治会で協議をしていただきたいと思います。</p>	市長 (まちづくり推進部)	③検討	こん談会での回答のとおりです。